１．プロフィール

ふりがな　ひがしやま　あきお 氏　名　東山　あきお			年齢 28 歳
職　業	PR コンサルタント	生年月日	1995　年　2　月　1　日
住　所	武蔵野　市　関前 4 丁目		
最終学歴	関西学院大学法学部卒業		
略　歴	1995 年 2 月 1 日生まれ 2017 年 3 月　関西学院大学法学部 卒業 2017 年 4 月　PR 会社にて勤務開始 2022 年 9 月　維新政治塾 卒業		

２．自己紹介

僕は普通の会社員です。その立場になって
初めて税金の高さを痛感したこと。
どんなことに使われているのか。
もっと厳しいチェックが必要なんじゃないか。
これほど一生懸命働いて納めたお金を無駄にはしてほしくない。
何か、おかしいんじゃない？
そう思ったら、ちゃんとおかしいと声に出すこと。
そして変えていくこと。
そんなシンプルな思いが、行動の原点になっています。
若い世代は政治に関心がないと言われます。
でも、私のように、ごく普通の会社員が、会社を辞めることなく、
議員を務めることができたら。
生き方・働き方の選択肢が広がり、生活と政治がもっと近くなる。

３．テーマ①「市議として最も取り組みたいテーマ」について

市議になった場合、最も取組みたいテーマについてお考えをお聞かせください。

事務事業見直し評価シートの総再点検
武蔵野市では様々な事業について、事業への支出が妥当か、どういう成果を上げたか、事務事業見直し評価シートを通じて点検を行っています。
そもそもこうした評価自体出していない自治体もあるなかで、公開してコスト計算を行っている点では先進事例と言えます。しかしながら、評価者が役所内にとどまっていること、対象事業も自分たちで決めていることなどの課題も残ります。こうした課題を乗り越えながら無駄な支出の削減を進め、財源の有効活用につなげます。

４．テーマ②「武蔵野市の今後の方向性」について

武蔵野市はどのようなまちづくりをしていくべきなのか。武蔵野市が今後目指していくべき方向性について、お考えをお聞かせください。

民間の活力を最大限に生かせるまちにしたい。起業したい人には起業支援を。子育てしたい人には給食費、学用品の公会計移行など教育子育て無償化を。そして広く一般の方々の可処分所得を上げるために、市民税減税を。市民の皆さんの自由さこそ、武蔵野、日本には必要。

５．テーマ③「住民投票制度のあり方について」

昨年、住民投票条例案は否決されましたが、住民投票制度は今後どうあるべきか、お考えをお聞かせください。

“”住民投票自体を否定するつもりは一切ありません。ただ令和３年第４回定例会にて提出をされた武蔵野市住民投票条例に関しては様々な懸念が指摘されていたのにも関わらず検証することもせず、要点整理の予算を割くのは違うかと思います。市に対しては丁寧な説明を求めていきたいと思います。
外国籍住民のみなさんは同じまちに暮らす大切な市民です。ただ、３ヶ月で投票権を与えるという点、疑問に感じています。他の自治体のように永住権を取得された方などに限定すべきです。
この点についても市民の皆様の意見を伺っていきたいです。